

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 9 月 2 日 (2021.9.2)

【公開番号】特開 2019-126674 (P2019-126674A)

【公開日】令和 1 年 8 月 1 日 (2019.8.1)

【年通号数】公開・登録公報 2019-031

【出願番号】特願 2018-12063 (P2018-12063)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 3 Z

A 6 3 F 5/04 5 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 7 月 26 日 (2021.7.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

開閉可能な開閉部と、遊技領域が形成される遊技盤とを具備し、遊技領域に設けられる受入口に遊技球が入球したことによる抽選の結果に基づいて遊技の進行を行うことができる遊技機であって、

電子部品が実装される特定基板と、

第 1 鍵が挿入される第 1 の装置と、

第 2 鍵が挿入される第 2 の装置と、

を備え、

前記特定基板は、複数の電子部品が実装され、当該複数の電子部品のうちの特定電子部品は回路グランドと電氣的に接続され、

前記第 1 の装置は、第 1 鍵が挿入されて第 1 の操作を行うことができ、

前記第 2 の装置は、第 2 鍵が挿入されて第 2 の操作を行うことができると共に前記第 2 の装置の信号ラインが電氣的に前記電子部品に接続され、

前記第 1 の装置は、当該遊技機の前面側から接触可能な箇所に設けられ、当該第 1 の装置の筐体が電氣的にアースと接続され、

前記第 2 の装置は、当該遊技機の前面側から接触不能な箇所に設けられ、当該第 2 の装置の筐体が電氣的にアースと接続されず絶縁されるものであり、

前記遊技機の設置状態において、前記第 1 の装置による第 1 の操作を行って開閉部を開けることにより、前記第 2 の装置に接触可能となる、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 7 】

本発明は、

開閉可能な開閉部と、遊技領域が形成される遊技盤とを具備し、遊技領域に設けられる受入口に遊技球が入球したことによる抽選の結果に基づいて遊技の進行を行うことができる遊技機であって、

電子部品が実装される特定基板と、
第 1 鍵が挿入される第 1 の装置と、
第 2 鍵が挿入される第 2 の装置と、
を備え、

前記特定基板は、複数の電子部品が実装され、当該複数の電子部品のうちの特定電子部品は回路グランドと電氣的に接続され、

前記第 1 の装置は、第 1 鍵が挿入されて第 1 の操作を行うことができ、

前記第 2 の装置は、第 2 鍵が挿入されて第 2 の操作を行うことができると共に前記第 2 の装置の信号ラインが電氣的に前記電子部品に接続され、

前記第 1 の装置は、当該遊技機の前面側から接触可能な箇所に設けられ、当該第 1 の装置の筐体が電氣的にアースと接続され、

前記第 2 の装置は、当該遊技機の前面側から接触不能な箇所に設けられ、当該第 2 の装置の筐体が電氣的にアースと接続されず絶縁されるものであり、

前記遊技機の設置状態において、前記第 1 の装置による第 1 の操作を行って開閉部を開けることにより、前記第 2 の装置に接触可能となる、

ことを特徴とする。

また、本願発明とは別の発明として、以下の手段を参考的に開示する。

(解決手段 1)

電子部品が実装される基板と、所定の鍵の操作による信号ラインが電氣的に前記電子部品に接続される鍵装置と、を備える遊技機であって、前記鍵装置の筐体は、電氣的に接地側へ接続される一方、前記鍵装置のシリンダが形成されるシリンダ部材は、前記鍵装置の筐体に電氣的に接続されずに絶縁される、ことを特徴とする遊技機。